

1. 事業報告

平成30年度通常総会を行いました

2017年7月3日(火)16時より、福井商工会議所ビル地下コンベンションホールにおいて『福井大学産学官連携本部協力会平成30年度通常総会』を行いました。

本総会は、協力会社233社から88名、本学関係者35名の計123名のご参加をいただきました。また97社の委任状を含め、議案が諮られ、その全てにおいて可決承認されました。なお、平成30年度新役員は、フクビ化学工業株式会社 理事開発本部長 辻修様、福井大学工学部 学部長 福井一俊教授、福井大学国際地域学部 学部長 木村亮教授となりました。(http://www.hisac.u-fukui.ac.jp/themes/hisac2017/files/pdf/h30yakuin.pdfをご参照ください)

続いて、通常総会後の記念講演では、本学をご卒業された株式会社HCI 代表取締役社長の奥山剛旭様にお話しいただきました。講演では、会社概要からはじまり、AIに関する研究会の紹介、ロボットシステムやその動向、AIに関する事例などをお話しいただきました。

最後に、交流パーティーを行い、福井大学産学官連携本部協力会の親睦を行いました。



(通常総会の様子)

2. 活動報告

3Dプリンタ機器講習会を行いました

2017年6月28日10時より、産学官連携本部I号棟3階研修室にて『3Dプリンタ機器講習会』を実施しました。

本講座では、ものづくりを支える技術講座として、アイグローバル株式会社 セールス&マーケティングの新井氏およびテクニカルエンジニアリングの安原氏に来ていただき3Dプリンタの概要説明とデモを行っていただきました。

まずMarkforged3Dプリンタの概要説明では、3Dプリンタ機器の特性、各分野での応用、造形した製品の強みや従来の3Dプリンタとの違いなどについて説明が行われました。

Markforged3Dプリンタでは、他の3Dプリンタよりも高い強度かつ炭素繊維をはじめとした種々の繊維を含んだ樹脂材料いわゆるFRP(繊維強化プラスチック)を材料として使うことが可能になっています。

続いて、デモでは、3Dプリンタの使い方や事例についてお話しいただき、実際に造形物を手に取って、軽量さや頑丈さなどを確かめました。

参加した方々は、メモを取って熱心に説明を聞きつつ、材料や加工などについて活発な質疑応答が行われました。



(概要説明の様子)



(デモの様子)

3. 活動報告

電子顕微鏡の実習を行いました

2017年7月11日(水)13時20分ならびに7月25日(水)8時50分より、ふくい産学共同研究拠点及びオープンR&Dファシリティにて『仁愛女子高校生を対象とした電子顕微鏡の実習』が行われました。

7月11日に講義を行い、続いて7月25日にふくい産学官共同研究拠点に整備されている装置の見学や電子顕微鏡の解説、実習ならびに福井大学生とのディスカッションを実施しました。

福井大学生とのディスカッションでは、工学部4年生と工学研究科修士2年生の計3名の女子学生を交え、話し合いました。高校生らは、進路選択、研究内容、学生生活、大学院に行くメリットやデメリット、友達づくりなどの質問をしていました。女子大学生、大学院生らは、「研究とは、苦しい面もあるが、答えがないものへの探求が楽しい」「大学生になってからは、資格取得などの自己投資、また本を読み見識を深めてほしい」などのメッセージを伝えました。



(大学生とのディスカッションの様子)

4. 活動報告

起業化経営論におけるアイデアコンペの提案書が提出されました

2017年7月20日の起業化経営論の講義において、『アイデアコンペの提案書』が提出されました。

本年度の起業化経営論では、4月に繊維素材の活用に関する課題が提示され、5月に16個の班ごとに分かれてアイデア出しのためのグループワーク、6月にアイデアの概要報告、その後は各班において商品計画のブラッシュアップ、具体的な設計や試作費用計画などを行い、7月に各班はアイデアを提案書にまとめました。

本提案書を基に、受講生らは、前期末の8月3日(金)にアイデアコンペとしてプレゼンテーションを行います。本コンペでは、株式会社ミツヤの水囊満様および授業担当教職員ら計4名で、アイデアの斬新さや成熟度、また実現可能性などの視点から評価を行い、実際に試作品製作を行う班の決定を行います。



(概要報告の様子)

[今後の予定]

原子力技術研究会

日時：8月24日(金)15時～17時

イノベーション・ジャパン

日時：8月30日(木)9時30分～17時30分

8月31日(金)10時～17時

JST 新技術説明会

日時：9月4日(火)

(平成30年8月1日発行)